科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／生活科教育法a (Teaching Methods: Life Environmental Studies a)		
担当者名 (Instructor)	伊藤　実歩子(ITO MIHOKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU3700	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

生活科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に支援された生活科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、さまざまな学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

Students will understand class objectives and content of elementary school Life Environmental studies classes, and become competent in arranging classes appropriate to various specific learning settings based on learning instruction theory.

授業の内容(Course Contents)

前半は、学習指導要領に示された生活科の目標や内容、生活科の背景となる学問領域との関係を理解する。その後は、学習指導案作りのポイントを学んだ後、指導案を作成し模擬授業の取り組む。模擬授業を行った翌週はリフレクションを行い、授業改善のための視点を身につける。

In the first half of the class, students will understand the relationships between the class objectives and content laid out by the elementary school curriculum guidelines and the academic discipline behind Life Environmental Studies classes. After that, once students have learned the class planning method points, they will carry out mock classes they have planned. The week after the mock classes are conducted, students will reflect and become familiar with perspectives regarding class improvement.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション：生活科のイメージ
2. 学習指導要領における生活科の目標と内容、全体構造の理解
3. 生活科授業をどう評価するか
4. 生活科の背景となる学問領域と教材研究
5. 学習者の実態を視野に入れた授業づくりをどのように行えばよいか
6. 指導案作成の方法：目標・内容・方法・評価
7. 指導案作成と模擬授業（1）学校、家庭及び地域の生活に関する内容
8. 前回の模擬授業のリフレクション
9. 指導案作成と模擬授業（2）身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容
10. 前回の模擬授業のリフレクション
11. 指導案作成と模擬授業（3）自分自身の生活や成長に関する内容
12. 前回の模擬授業のリフレクション
13. 生活科の授業改善とカリキュラム編成
14. 生活科授業における情報機器の効果的な活用

授業時間外（予習・復習等）の学習(Study Required Outside of Class)

本科目では、実際に自分で調査などを行うことを求めるものになるため、授業時間外の学習時間は多くなることに留意すること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業内レポート(30%)/授業内レポート(30%)/授業内レポート(40%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

その他（HP 等）(Others(e.g.HP))

授業の進行に伴って、オンライン利用での授業を数回予定している。詳細は事前に授業内で連絡する。

注意事項(Notice)